



能宗 正洋
誠友会 (50分)
QRコード

福山城での城泊の実証実験は

問 ①参加者からの評価は。
②今後の本格実施に向けた課題は。

答 ①体験していただいたオーストラリア出身のインバウンド観光アドバイザーからは、天守や櫓など福山城全体を会場にしたことや、御湯殿での能の体験と伏見櫓の特別見学に高い評価をいただいた。

また、宿泊場所である月見櫓の内装などは期待以上であったとの評価もいただいた。
②福山城の歴史や文化に対して深い知識のある案内役の配置や宿泊者のニーズを踏まえた柔軟なスケジュール設定、宿泊場所での入浴が課題として挙げられた。
これらを踏まえ、さらに工夫を重ね、より満足度の高い内容に練り上げていきたいと考えている。



城泊に使用する部屋



田口 裕司
誠友会 (50分)
QRコード

まちづくりミーティングは

問 持続可能な地域コミュニティーをつくっていくために始まり、現時点で15学区で取り入れている。その取り組み内容や成果の受け止めは。

答 多世代、多様な主体が参加する話し合いの場となるよう、各団体の役員だけでなく、これまで地域の会合に参加したことがなかった若手や子育て世代にも声をかけるなど、構成メンバーに工夫がされていた。また、ミーティングでは、さまざまな意見が活発に飛び交い、地域の方とこんなに話をしたのは初めてといった声なども多く聞かれた。ミーティングをきっかけに若手中心の新たな活動グループができ、地域の課題解決のために早速動き始めた学区もある。

これらの動きが地域の中で継続し、また他の地域へも広がること
が大切と考えており、引き続き、行政としてもしっかりサポートしていく。



まちづくりミーティングの様子



小島 崇弘
誠友会 (55分)
QRコード

市道の道路のり面の維持管理は

問 草刈りが困難となっている箇所への対応は。

答 住民の高齢化などで担い手不足が見込まれる地域もあることから、道路のり面に防草シートや張りコンクリートを設置して雑草が生えにくくする対策を強化していく。

スマート農業の推進は

問 自宅でスマホを見ながら水田の状況を確認するなど、労力を減らすことが望ましいと考えるが、本市の取り組み状況は。

答 昨年度から、農薬散布用ドローン、リモコン草刈り機、ハウス内の自動環境制御システムの導入に対して支援をしている。地域の農業の効率化や省力化に取り組もうとする認定農業者が、生産性の高い農業を展開できる環境を整備していく。

